

新潟市教育委員会 日本語指導推進事業

サバイバル期指導 ○来日時、集中的に支援員派遣

※R3年度：支援体制を強化し、組織的に取り組めるようにする。

幼

- 実態把握
- 日本語指導
- ※進学指導
- ※保護者面談支援

プレスクール

小・中

- 実態把握
- 日本語指導
- ※「特別な教育課程」による日本語指導実施
- ※ICT・DLAを活用した指導に取り組む
- ※個別の教育支援計画作成

進路相談会

高

- 実態把握
- 日本語指導
- ※進路指導
- ※保護者面談支援

集中区 (北区・東区・西区)

日本語指導担当配置型拠点校

- 拠点校に教員1名配置 周辺校へ派遣

※R3:基礎定数3名 本則1名 計4名の教員配置

散在区 (中央区・江南区・秋葉区・南区・西蒲区)

支援員配置型拠点校

- 各区担当日本語指導支援員配置

※該当児童生徒数及び母語等の実態に応じ各区1～5名

関係者連絡協議会・日本語指導研修会・運営協議会

- 関係機関(国際交流協会 NPO 大学等)と連携し、事業の円滑な運営を図る。
- 年間3回以上研修会を行い、より良い日本語指導法の共有とノウハウの蓄積を図る。